

令和 6 年 第 3 回 定 例 会

一 般 質 問 通 告 書

白 井 市 議 会

令和6年第3回定例会 一般質問一覧表

| 質問日 | 質問番号 | 氏名 | 質問事項 |
|-------|------|-----------|--|
| 9月9日 | 1番 | 小田川 敦子 議員 | 1. すべての人々の意思疎通を豊かにしていく「わかりやすいまちづくり」を目指して |
| | 2番 | 荒井 靖行 議員 | 1. 市民向け休憩施設の整備状況について 2. 外国人転入対策について 3. 訪問介護サービスの継続支援策について |
| | 3番 | 徳本 光香 議員 | 1. 将来の安く安全な水の供給について 2. 文化センターの大規模改修基本計画について |
| | 4番 | 石田 里美 議員 | 1. 白井市企業誘致基本方針に基づく企業誘致の実現に向けた基本的な方向性の現状と今後の課題について 2. 庁舎と保健福祉センターの機能と在り方について |
| | 5番 | 根本 敦子 議員 | 1. 市街地開発における住民への配慮と景観との調和について |
| 9月10日 | 6番 | 石原 淑行 議員 | 1. 県道189号千葉ニュータウン北環状線について 2. 少子化対策、子育て支援について |
| | 7番 | 久保田 江美 議員 | 1. シティプロモーションについて |
| | 8番 | 武藤 美砂子 議員 | 1. 災害時における医療救護体制について 2. 白井市の保育環境について |
| | 9番 | 石井 恵子 議員 | 1. 高齢者の聞こえのコミュニケーションについて 2. 移動困難者の移動支援策と元気な高齢者の外出支援について |
| 9月12日 | 10番 | 広沢 修司 議員 | 1. 広域連携について |
| | 11番 | 柴田 圭子 議員 | 1. 北環状線の開通と沿線開発について 2. IT機器が児童や生徒に与える影響について |
| | 12番 | 平田 新子 議員 | 1. 第6次総合計画策定に向けての構えについて |
| | 13番 | 田中 和八 議員 | 1. 児童生徒の交通安全対策について 2. 自治会と小学校区まちづくり協議会の関連性と今後の取り組みについて 3. 土地利用について |

| 質問事項 | 質問要旨 |
|---|---|
| <p>1. すべての人々の意思疎通を豊かにしていく「わかりやすいまちづくり」を目指して</p> | <p>障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法は、障がい者が社会の一員として共生することを目指して、令和4年に施行された新しい法律です。障がい者があらゆる分野の活動に参加するためには、情報の十分な取得利用や円滑な意思疎通が極めて重要であることから、障がい者による情報の取得利用ならびに意思疎通に係る施策を総合的に推進し、共生社会の実現に資することを目的としています。そして、国・地方公共団体の責務としては、「障がい者でない者にも資することを認識しつつ施策を行う」としています。</p> <p>誰もがわかりやすく、暮らしやすいまちづくりを実現するために、情報のバリアフリー化は欠かせません。法の理念に基づき、市の取り組みについて、以下質問いたします。</p> <p>(1) 住民への周知と理解促進に関する取り組みについて</p> <p>(2) デジタル技術の導入・サポート等の支援について</p> <p>(3) 当事者の社会参画を促す情報提供について</p> <p>(4) 施策の実効性や評価の仕組みについて</p> <p>(5) 防災における情報のバリアフリー化について</p> |

| 質問事項 | 質問要旨 |
|-----------------------------|--|
| <p>1. 市民向け休憩施設の整備状況について</p> | <p>白井市役所来庁後ナッシー号で帰宅する場合、長時間待機することが多いとの声を聴いております。そこで市民向け休憩施設について伺います。</p> <p>(1) 庁舎正面玄関隣にあるコンビニエンスストアが再開されていません。現状と課題についてご説明ください。</p> <p>(2) 市民課窓口の混雑対策として住民票を取得できる多機能端末を整備すべきと考えますが如何でしょうか。</p> <p>(3) 保健福祉センターにあった飲食施設が再開されていません。再開予定につきご説明ください。</p> <p>(4) 白井市文化センター2階にあった飲食施設について再開予定はありますか。現状と課題についてご説明ください。</p> <p>(5) 前回の一般質問にて教育長より「市民プールの利便施設については予算との兼合いをみて整備する」との答弁がありました。熱中症警戒アラートが連日発出されています。日影の整備はもはや安全性を考慮し来年の開場に合わせて整備すべきと考えますが如何でしょうか。</p> |
| <p>2. 外国人転入対策について</p> | <p>白井市は外国人転入が増えています。私たちは外国人市民と文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、外国人市民が地域社会の仲間として白井市を支える一員となることが望まれます。そこで伺います。</p> <p>(1) 2023年白井市に転入した国籍別外国人数と傾向は。</p> <p>(2) 外国人は転入手続時に慣れない環境で多くの窓口を回らなければなりません。ワンストップ対応による支援が必要と考えますがいかがですか。</p> <p>(3) 外国人市民にゴミの出し方などマナーの啓蒙や、孤立を防ぎ地域社会と安心して交流できる取組みは。</p> <p>(4) 小中学校に転入した外国人児童や生徒への支援対策は。</p> <p>(5) 交流を支援する「やさしいにほんご」対策は。</p> |

| | |
|------------------------------|---|
| <p>3. 訪問介護サービスの継続支援策について</p> | <p>今年度より訪問介護報酬が値下げとなり、全国で倒産・撤退する事業者が増加し、訪問介護サービスが危機を迎えています。そこで白井市が訪問介護事業を維持する施策について伺います。</p> <p>(1) 2023年の白井市の訪問介護サービス利用者数は。また、近年の傾向は。</p> <p>(2) 白井市では訪問介護サービスの需要に対し供給は充足していますか。</p> <p>(3) 白井市は訪問介護サービスを維持するため事業者にどのような支援策を講じていますか。</p> |
|------------------------------|---|

| 質問事項 | 質問要旨 |
|----------------------------|--|
| <p>1. 将来の安く安全な水の供給について</p> | <p>水道法の第1条には、「この法律は、水道の布設及び管理を適正かつ合理的ならしめるとともに、水道の基盤を強化することによって、清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もつて公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的とする。」とあり、命と生活に欠かせない水は、きれいで安くあるべきとの国の考えが示されています。PFAS問題も全国で深刻化するなか、この目的は一層大事なものとなっています。</p> <p>今年、民間グループが発表した試算によると、2046年度まで水道の健全経営を維持するには、全国の水道料金を平均1.5倍にする必要があり、白井市についても、現在の1.55倍の月6,035円になる見込みという内容でした。</p> <p>また、市が2021年度から2030年度の期間を対象に作成した「上下水道事業経営戦略」には、白井市の人口は2017年度をピークに減少しているとあり、今後は、災害対策や耐用年数を超えた配水管の更新や維持管理を中心に行う方針が書かれています。</p> <p>そのような状況のなか、白井も含む印旛地区の自治体も出資して工事が続いている「霞ヶ浦導水」事業は、すでに繰り返し工事の計画変更や工期の延長を行って莫大な費用をつぎこんでおり、埼玉県や九十九里地域水道企業団など、計画から脱退する県や自治体も増えています。</p> <p>市として、霞ヶ浦導水事業の必要性和市の負担をどう考えるのか、今後の水の供給と設備の維持、その財源ともなる水道料金をどう考えているのかを伺います。</p> <p>(1) 市の水道管の整備は、2025年度でいったん完了という方針ですか。</p> <p>(2) 市の「上下水道事業経営戦略」には、今後の人口減少が見込まれる一方で、2030年くらいまでは使用水量は増加の見込みとありますが、人口が減っても使用水量が増える見込み理由は。</p> <p>(3) 霞ヶ浦導水について、今までに支出した費用を含め、完成までに市が負担する見込みの総額は。</p> |

- | | |
|--|---|
| | <p>(4) 霞ヶ浦導水について、印旛郡市の自治体ではどのような話し合いや要望を行ってききましたか。</p> <p>(5) 「印旛広域水道ビジョン・経営戦略」でも、構成団体の給水人口は2039年度までに約4.3万人減り、一日平均給水量も約10.6%減る見通しとしていますが、霞ヶ浦導水の完成時にもなお、市がその水利権を買う必要がありますか。</p> <p>(6) 霞ヶ浦導水事業に参加し続ける場合と、脱退する場合とで比較した場合、市が支出する見込みの総額にはいくらの差が予想されますか。</p> <p>(7) 千葉県と白井・柏・鎌ヶ谷市でも連帯して取り組んでいるPFAS問題の解明や対策について、今後の予定は。</p> |
|--|---|

2. 文化センターの大規模改修基本計画について

現在、文化センターの大規模改修基本計画の策定事業委託プロポーザルの、委託事業者の選定が行われています。市の「市民参加条例」第1節の第6条には、「実施機関は、法令に特別の定めがある場合を除き、次に掲げる行政活動を行おうとするときは、市民参加により行わなければならない。」対象として、「(5) 市民の公共の用に供される大規模な施設の整備に係る基本計画等の策定又は変更」とあり、まさに文化センターの大規模改修基本計画の策定があてはまると思われるため、以下について問います。

- (1) 文化センターの大規模改修基本計画の策定を担当する職員の構成。
- (2) なぜプロポーザル方式を採用したのですか。
- (3) 基本計画策定の業務内容にある「市民ニーズの把握」のための「今後行う」市民アンケートの内容は事業者が作成するのですか。
- (4) (3) のアンケートの取りまとめを市が行う理由は。
- (5) 4施設の改修方針と市民アンケートとのすり合わせをどう行いますか。
- (6) 文化会館大ホールの舞台音響について、文化センターの大規模改修基本計画の策定業務委託仕様書には、デジタル化・ネットワーク化とだけありますが、音響設備のレベルは維持しますか。
- (7) 市民の具体的な要望や知恵、アイデアを取り入れるための工夫は。
- (8) 計画策定過程の公開と市民参加はどうしますか。

| 質問事項 | 質問要旨 |
|--|---|
| <p>1. 白井市企業誘致基本方針に基づく企業誘致の実現に向けた基本的な方向性の現状と今後の課題について</p> | <p>市は少子高齢化の進行や人口減少の進む中で、令和6年度は、現在取り組んでいる企業誘致に加え、新たな産業や雇用の創出など、今まで以上に力を入れて取り組むことにしています。「4月から、未来創造戦略室が新しくスタートし方針策定の迅速化や組織力の強化を戦略的に図ることとしました。」と市長のメッセージが、4月1日の広報しろいに掲載されています。</p> <p>ここには、職員の人材確保やマネジメント体制の強化等、そして、新たな歳入確保を図り、デジタル技術も活用して、市民サービスに繋げていく趣旨が述べられています。いよいよ白井市も活気を帯びてくると、市民の方々も大きな期待を抱かれています。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>(1) 未来創造戦略室の所掌事務についてお伺いします。</p> <p>(2) 令和4年に「白井市企業誘致基本方針」が示されてから、今日まで2年ほど経っています。企業誘致推進事業の進捗についてお伺いします。</p> <p>(3) 企業誘致の推進により市が目指している方向性と市民サービスに繋げていく点についてお伺いします。</p> |
| <p>2. 庁舎と保健福祉センターの機能と在り方について</p> | <p>市は現在、行政改革に取り組みながら、少子高齢化問題にも取り組んでいる中で、いつも市民サービスを大切に掲げています。近年、市民の方々との懇談のうちに、庁舎及び保健福祉センターの在り方について、色々なご意見を伺っています。対応や機能の在り方など、これからの白井市にとって、重視していく問題と捉え、次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 東庁舎1階多目的スペースの行事以外の有効利用について</p> <p>(2) 市民への対応の在り方について</p> <p>(3) 保健福祉センター内の1階旧たんぼぼの利用について</p> |

| 質問事項 | 質問要旨 |
|--------------------------------------|--|
| <p>1. 市街地開発における住民への配慮と景観との調和について</p> | <p>現在、白井市ではデータセンター建設計画が、市役所の南側、富ヶ谷、桜台6番街の前の3か所で進んでおり、すでに建てられているデータセンターが1か所あります。</p> <p>データセンターは、大量の電力消費を必要とし、温室効果ガスを排出する施設です。地球温暖化対策が叫ばれる中、企業誘致する自治体もさらなる温暖化対策を行っていくべきではないでしょうか。</p> <p>1997（平成9）年度、白井町のときに策定した「緑の基本計画」では、「新たな市街地開発を行う場合は、周辺の自然景観と調和した、良好な街並み形成を目指し、既存樹林地等の活用や、計画的な公園等の整備及び民有地の緑化等を図ります。」とあります。</p> <p>白井市の「まちづくり条例」第6条には、「事業者は、その事業活動によって良好な居住環境を損なわないよう、自らの責任と負担において必要な措置を講ずるとともに、この条例の目的を達成するために市が実施する施策等に協力しなければならない。」とあります。</p> <p>これら2つの条例を策定した市は、いま行われているデータセンター開発について、事業者に対してどのようなかわり方をしているのでしょうか。また、建築基準法の第1条には、「この法律は、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。」とあり、「公共の福祉の増進」を掲げています。そこで、「公共の福祉」にも大いに関係する、住民の生活環境と景観を守る市街地開発について、市の考えを問います。</p> <p>(1) 市が誘致しようとしているデータセンターの大量の電力消費、二酸化炭素の排出、熱い空気の排出は、地球温暖化につながるのではないのでしょうか。「地球温暖化につながるため、市の温室効果ガス排出削減対策は、より厳しいものにする必要があるのではないですか。」</p> <p>(2) 市は、開発事業者が「建築基準法」を守っているが、市の「まちづくり条例」にある「良好な住居環境を保つための事業者の責任」や、「緑の基本計画」にある「市街地開発は周辺の自然景観と調和した良好な街並み形成」には違反している場合、どのような対応をしていますか。</p> <p>(3) 市役所南側の東京電力のデータセンターに関して、住民との話し合いも含めた計画・工事の進捗状況について</p> |

- (4) 富ヶ谷G L Pデータセンターに関して、住民との話し合いも含めた計画・工事の進捗状況について
- (5) 桜台6番街の前G L Pデータセンターに関して、住民との話し合いも含めた計画・工事の進捗状況について
- (6) すでにできているI I Jのデータセンターは、今年7月に2期工事を行いました。さらに、拡張スペースが確保されています。今後、3期工事が行われ、1階から2階、3階へと増設されるのでしょうか。
- (7) 増設される場合は、開発行為ではないので、近隣住民へのお知らせや説明会、市による許可は必要ないのでしょうか。
- (8) 建築基準法の第1条には、「この法律は、建築物の敷地、構造、設備及び要路に関する最低限の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。」とあり、「公共の福祉の増進」を掲げています。市は市街化開発における「近隣住民に関する公共の福祉」をどう考えていますか。

| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 |
|----------------------------------|---|
| <p>1. 県道189号千葉ニュータウン北環状線について</p> | <p>千葉ニュータウン地域の商業施設や企業は著しく増加し、成田空港の滑走路増設計画が進む現在、羽田空港と成田空港を結ぶ、国道464号北千葉道路の交通量は増加し、白井市内の区間においても交通渋滞がみられるようになりました。その渋滞を避けるために、迂回路として、県道189号千葉ニュータウン北環状線を通る車も増加し、こちらでも頻繁に交通渋滞が起こるようになってきています。特に北環状線の神々廻の交差点で渋滞することが多く、そこを通勤や生活道路として使っている市民から、交通渋滞の解消ができないかとの声を多く聞いています。この県道189号千葉ニュータウン北環状線は、千葉ニュータウン事業と共に計画された道路で、現在、神々廻、清戸の区域は未開通となっており、神々廻の交差点は暫定的に作られた交差点になっています。未開通の理由として、一部区間に産業廃棄物が埋まっており、その処理の目途が立たないとの話も聞いたことがあります。以前、神々廻の交差点は丁字路になっており、信号もありませんでしたが、その時も交通渋滞は見られていました。丁字路から信号の交差点に改良され、一時は渋滞が解消されたようにもみえましたが、以前とは違った交通渋滞がみられるようになりました。</p> <p>こうした状況を踏まえ、以下について伺います。</p> <p>(1) 県道189号千葉ニュータウン北環状線のこれまでの経緯について</p> <p>(2) 県道189号千葉ニュータウン北環状線全面開通、今後の整備について</p> |

2. 少子化対策、子育て支援について

昨年の令和5年第2回議会定例会での市長の所信表明では、市政運営の具体的な5つの施策の1番目に「もっと子育て教育のまちに」をあげていました。

私は、前回議会において、市の人口減少対策について質問させていただき、若い世代が定住するための施策等を行っていることを確認しました。

また、現在の社会問題として、人手不足、担い手不足があります。医療・介護、運送業やバスの運転手、学校の先生、建築・土木、自治体の公務員、あらゆる職種の人手不足は、今後の社会機能が維持できるかの問題となっています。人手不足に対しては、AIの活用や外国人雇用等を進めていますが、根本の問題解決には、少子化対策をいかに進めるかが国においても、各自治体においても重要と考えます。少子化に歯止めをかけるには、2030年までが反転できる最後のチャンスと言われています。

こうしたことを踏まえ、少子化対策、子育て支援について質問します。

- (1) 市は令和7年度から始まる「こどもプラン」を策定中ですが、これまでのプランとの違いについて伺います。
- (2) 次期こどもプランで、より充実を図っていく取り組みについて伺います。
- (3) 市は子育てにかかる経済的負担をどのように考えているか伺います。

| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 |
|--------------------------|---|
| <p>1. シティプロモーションについて</p> | <p>白井市のシティプロモーション事業の指針となる「白井市シティプロモーション基本方針」が平成28年に策定されてから、8年になります。</p> <p>策定されてから10年近くなる為、市を取り巻く環境にも変化がある事、また次期総合計画の策定に向けて動き出している為、シティプロモーションについてももう1度考えてみることは重要であると考えます。</p> <p>そこで、以下の質問をしたいと思います。</p> <p>(1) これまでの経緯についてお伺いいたします。</p> <p>(2) 現状についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 今後、どのようにしていくのかお伺いいたします。</p> |

| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 |
|-----------------------------|---|
| <p>1. 災害時における医療救護体制について</p> | <p>今年年頭に、発生した大規模な能登半島地震に加え、8月に宮崎県で起きた震度6弱の地震などから、南海トラフ地震の警戒情報が出されるなど大地震に対する危機感が高まっている状況です。</p> <p>前回、私の質問で防災対策の話は伺いましたが、市民が負傷した際の対応についても、関心があると同時に重要なことであると考えています。</p> <p>実際に市民の方から、災害時に怪我や病気になったらどうしたらよいのかとお声をいただいています。</p> <p>大規模災害が発生すると、多数の負傷者が出るおそれがあり、地域の医療機関も被害を受け、機能しなくなる可能性があります。</p> <p>通常の医療機関とは違い設備や医薬材料の備蓄なども大切です。</p> <p>昨年から、医療コーディネーターの設置や災害医療体制の整備に向けた会議を開催されていて、市として検討を進めている最中かと思えます。</p> <p>その進捗状況等について伺います。</p> <p>(1) 災害時の医療救護体制構築に向けた進捗状況について</p> <p>(2) 災害時の医療救護体制構築を進めるにあたっての課題について</p> <p>(3) 課題の解決策について</p> <p>(4) 市民への周知はどのように行いますか。</p> |

2. 白井市の保育環境
について

働き方が多様化してきた昨今、母親の産後の選択肢も増えています。

職場復帰する人や育児に専念する人、在宅勤務可能な職種に異動・転職する人、個人で仕事を受けつつ子育てとの両立を目指す人もいます。

女性が生き生きと活躍できる社会の実現へ、政府は2024年6月「女性活躍・男女共同参画の重点方針2024」を決定しました。この方針は企業等における女性の活躍、女性の所得向上・経済的自立、個人の尊厳と安心・安全などが、柱となっています。

働く母親を支えるために白井市においても、保育園や幼稚園のほか、認定こども園や小規模保育所など様々な形態の施設がありますが、内閣府のデータによれば認定こども園の数は、全国的に増えています。白井市の施策である「しろい子どもプラン」においても、認定こども園への移行を支援するとあります。

認定こども園は、幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持ち教育・保育を一体的に行う施設で、父親または母親の就労の有無にかかわらず利用が可能というのが特徴です。

認定こども園にお子様に通園しているお母様から感想を頂いています。

現在、小学校2年生の娘さんの時に園の見学を案内してくださった先生のお人柄がきっかけで、息子さんも通園しています。

園長先生は登園する子や小学生の見守りを毎朝していただき、卒業生かな、と思う子へも声をかけていて、温かい園だなと思っています。

コロナの時期には、行事の縮小があったもののできることを考えて取り組んでいただき、ただ経営するだけでなく、水遊び1つにしても色々な工夫をして子供たちを楽しませていただき感謝しています

子どもや、保護者の方にとって、園の生活は初めての事ばかり、今まで遭遇したことのない新型コロナウイルスも流行りました。あってはならない送迎バス置き去り事件が、令和3年に福岡県で、令和4年には静岡県で起きました。そこで以下の点について伺います。

- (1) 白井市の認定こども園の現状について
- (2) 送迎バス等の安全対策について
- (3) 3歳未満児の保育要件のない家庭支援について

| 質問事項 | 質問要旨 |
|---------------------------------------|--|
| <p>1. 高齢者の聞こえのコミュニケーションについて</p> | <p>孤独・孤立対策推進法が2024年4月1日に施行されました。孤独・孤立の状態は世代を問わず誰でも発生する可能性があります。特に高齢者は社会との接点がだんだん減少し孤立しやすい環境にあり、心身の健康への悪影響も関係してきます。</p> <p>本市の「令和5年度版統計しろい」によりますと65歳以上の市民は17593人で、本市の全人口に対する高齢化率は28.1%となっています。75歳以上の人口は9089人で高齢化率は14.5%です。この中で、お一人暮らし、いわゆる単身者数を調べましたら65歳以上は12.4%で、75歳以上になりますと17.4%と高くなります。単身高齢者でも地域活動やボランティア活動に積極的に参加して、いつまでも住み慣れた地域で生き生きと生活したいと考えますが、人との交流には聞こえが大切です。</p> <p>国立研究開発法人国立長寿医療研究センターの発表によると、要介護状態の新規発生は聴力低下のない群では4.5%であったのに対し、聴力低下のある群では8.3%と高いことが示されました。</p> <p>そこで、以下の点について伺います。</p> <p>(1) ヒアリングフレイル事業について (2) 聴覚補聴器について (3) 電話リレーサービスについて</p> |
| <p>2. 移動困難者の移動支援策と元気な高齢者の外出支援について</p> | <p>一人で移動することが困難な高齢者や障がい者に対する外出支援サービスが令和6年度末に廃止される予定です。今まで車いすで外出支援サービスを利用していた方は今後どうなるのか、また、令和5年度から新たな立ち上げや運営経費を助成している福祉有償運送は、事業として広がっているのか、市民に認知されているのか伺います。</p> <p>福祉タクシーや福祉有償運送の対象ではない高齢者等は、バスの減便や都合の合う移動手段がないことから病院や買い物等に限らず、ボランティア活動や身体・文化活動等の外出に大変不便と不安を抱えています。</p> <p>地域の足である地域公共交通について諸々検討されているとは思いますが、市民の声は待ったなしです。</p> <p>そこで、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 移動困難者の支援について (2) 元気な高齢者の外出支援について</p> |

| 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 |
|--------------------|--|
| <p>1. 広域連携について</p> | <p>広域連携の拡充は、現代の地方自治体が直面する多様な課題に対応するために不可欠であり、人口減少や高齢化、自然災害の増加、環境問題、財政問題など、単独の自治体では対処が困難な問題に効果的に取り組むために必要であると考えます。複数の自治体が協力することで、行政サービスの効率化とコスト削減を実現しつつ、住民の生活の質を維持・向上させることが可能になり、また、広域的な視点での経済振興や産業振興により、地域全体の活性化と競争力強化が期待できます。さらに、災害時の迅速な対応や環境保護活動の推進など、広域的な協力体制が求められる分野での取り組みも強化されます。</p> <p>このように、広域連携の拡充は、持続可能な地域社会の実現と住民サービスの向上に向けた重要な戦略として、その必要性がますます高まっていると考えることから、以下、質問いたします。</p> <p>(1) 市民生活の向上のための広域連携について</p> <p>(2) 地域経済の活性化のための広域連携について</p> <p>(3) 広域行政の推進と効率化について</p> |

| 質問事項 | 質問要旨 |
|----------------------------|---|
| <p>1. 北環状線の開通と沿線開発について</p> | <p>千葉県道189号千葉ニュータウン北環状線（以下「北環状線」）は、印西市と白井市を結ぶ県道ですが、白井市神々廻～清戸間の一部が未開通のままです。</p> <p>都市計画道路建設予定地は、新住事業者であった都市機構(以下UR)がニュータウン事業の一環として担っていましたが、ニュータウン事業収束に伴い、千葉県が担うことになりました。</p> <p>未開通部分は都市計画道路構想に基づき昭和45年（1970年）に当時の千葉県企業庁が当該用地の一部を買収しています。ところが、昭和54年（1979年）、地主が自己所有地及び県有地に廃棄物を搬入、焼却を開始しました。</p> <p>その後、県や当時の白井町が立ち入り調査や勧告を行い、千葉県警による起訴・罰金刑が確定しましたが、行為はやまず、昭和59年（1984年）には地主を廃棄物処理法違反で逮捕・書類送検、昭和61年（1986年）にも再び逮捕されています。</p> <p>平成3年（1991年）に地主が死亡し、長男が土地を相続。この頃、この土地を借りた薩摩興業（株）（当時）が積み上げた産廃の山の上に事務所を建てています。</p> <p>その後はこの会社に対して事情聴取が行われたりもしていますが、進展なく、平成28年（2016年）には経済再生担当相だった甘利議員が、URとの補償交渉を口利きし、見返りを受け取っていたことが発覚し、閣僚を辞任したといういわゆる甘利事件も起きました。</p> <p>URは平成30年（2018年）、（当時）薩摩興業（株）に対して債務不存在確認訴訟を起こしましたが、問題解決につながる内容ではなく、以後目立った動きはありません。</p> <p>この道路は市の交通網整備の中でも重要な位置づけであり、開通すれば、市の幹線道路となります。県と連携し解決に向けてあらゆる手段を講じる必要があります。</p> <p>またこの部分以外の道路整備は進んでいますが、道路整備のみならず沿道の整備・開発に関しても、開通したときのことを考えると現状の状況のままでよいのか、今後どのように整えていくのかを考えておかななくてはなりません。</p> <p>この問題について以下質問します。</p> <p>(1) URの事業はH25年度に終了しています。県の事業となっているはずですが、白井市はどのように関わってきていますか。</p> <p>(2) 開通に向けた今後の見通しは</p> <p>(3) 北環状線の整備と同時に沿道の開発をどのように進めていくのですか。</p> |

| | |
|--------------------------------|--|
| <p>2. IT機器が児童や生徒に与える影響について</p> | <p>一人一台タブレットが定着し、学校現場においても、時には自宅においてもタブレットを使っての学習が行われています。</p> <p>生活の中で、パソコンやスマホが当たり前になり、ネット上のゲームも子どもにとっては身近なものです。</p> <p>ゲームやスマホの使用などは各家庭で管理すべきものともいえるかもしれませんが、学校教育においてもタブレットを使用し遠隔授業も行われるようになった現在、児童・生徒がIT機器に触れる機会はますます増えています。</p> <p>児童・生徒がIT機器に囲まれる生活による子どもたちの心身に対する影響ということは考えてみたほうがいいのではないのでしょうか。</p> <p>そこで以下伺います。</p> <p>(1) 現在の児童生徒を取り囲むIT環境の現状はどのように把握していますか。</p> <p>(2) 児童・生徒に及ぼす影響をどのように考えておられますか。</p> <p>(3) 何らかの対応を考えておられますか。</p> |
|--------------------------------|--|

| 質問事項 | 質問要旨 |
|--------------------------------|---|
| <p>1. 第6次総合計画策定に向けての構えについて</p> | <p>令和7年度からの10年間、白井市政の根幹となる第6次総合計画策定に向けて住民意識調査・市民参加のワークショップなどの基本調査も実施されております。今後の市を取り巻く社会情勢の変化や、第5次総合計画の遂行結果等を含めて、第6次総合計画を策定していくにあたって、市の考え方を伺います。</p> <p>(1) 住民意識調査での結果を受けて、特徴的に受け止めている点について伺います。</p> <p>(2) 小中学生から若者世代・高齢世代の方々までの多くのご参加を得て、市内各所でワークショップが開催されました。市民からの貴重なお声の数々は、どのように第6次総合計画に活かされていくのかを伺います。</p> <p>(3) 今後10年の人口推計をどのように想定しているのかを伺います。</p> <p>(4) 今後10年の財政推計をどのように想定しているのかを伺います。</p> <p>(5) 第6次総合計画に時期を合わせて整合性を図りながら見直し策定されていく計画には、どのようなものがあるのかを伺います。</p> <p>(6) 白井市の都市マスタープランの位置づけについて、確認のため伺います。</p> <p>(7) 今後、第6次総合計画策定に向けての流れを伺います。</p> |

質問第13番 田中 和八 議員

| 質問事項 | 質問要旨 |
|-------------------------------------|--|
| 1. 児童生徒の交通安全対策について | <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度の実績について (2) 令和6年度のPTAよりの要望について (3) 交通事故防止のための警察との連携について |
| 2. 自治会と小学校区まちづくり協議会の関連性と今後の取り組みについて | <ul style="list-style-type: none"> (1) 小学校区まちづくり協議会の現況と今後について (2) 自治会と小学校区まちづくり協議会との関連性について (3) 一部自治会の負担増について (4) 自治会の今後について |
| 3. 土地利用について | <ul style="list-style-type: none"> (1) “グリーンインフラの活かし方” シンポジウムについて (2) 通称LM地区七次、白井木戸地域のサウンディング調査について (3) 白井駅前にある企業局所有地を市で活用する考えは。 |